

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。
②①に基づく取り組み結果	教育委員会定例会を学校(中部小・南部小)や学校給食センターを会場として開催するなど、学校現場との意見交換を積極的に行い、教育委員会の活性化を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術、文化に関する識見を有する者を任命する
②事務事業の概要	毎月1回定例会を開催し、本市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し決定している。なお、教育長が必要と認めるとき、または委員2人以上から会議に付する案件を示して会議の招集の請求があったときは臨時会を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員会体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など様々な教育行政に対し、教育委員会委員による多様な民意を反映した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 定例会の回数	12	12	12	実施回数
	ii 臨時会の回数	5	7	5	実施回数
	iii 議決された案件	46	33	35	議決案件数
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	2,272	2,243	金額(千円)	内容	2,248
	国支出金(千円)		2,208	教育委員会委員報酬	
	県支出金(千円)				
	市債その他(千円)				
	一般財源(千円)	2,272	2,243		2,248

IV 評価・検討

①課題	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ヶ谷小学校の外壁屋上改修工事の際に老朽化した建具の改修を併せて行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	中部小学校・東部小学校・西部小学校のトイレ改修工事、第二中学校の外壁屋上改修工事の際にサッシ等附帯設備の改修を行う。
②①に基づく取り組み結果	鎌ヶ谷小学校の外壁屋上改修工事の際に老朽化した建具の改修を併せて行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に改修を行い、学習環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の建設時期が一定期間に集中していることから、全体的に老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 校舎工事に関する生徒/全生徒	29	18	13%	実施校生徒数/全生徒数
	ii 体育館工事に関する生徒/全生徒	0	0	0%	実施校生徒数/全生徒数
iii その他工事に関する生徒/全生徒	20	13	13%	実施校生徒数/全生徒数	
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	194,709	186,175	金額(千円)	内容	323,609
国支出金(千円)			4,320	鎌小外壁等改修工事設計	37,470
県支出金(千円)			5,197	中部小トイレ改修工事設計	
市債その他(千円)	145,000	140,800	142,098	鎌小外壁等改修工事	265,600
一般財源(千円)	49,709	45,375	34,560	鎌小プール改修工事	20,539

IV 評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	鎌小外壁等改修工事、鎌小プール改修工事、中部小トイレ改修工事設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。中部小トイレ改修工事の設計を行った。	353,912	352,252	当初	199,912	186,175	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越				
③達成状況	未完了			補正	154,000		現年分	186,175
				流用・充当	-1,660			
④未完了・非着手の理由	国の補正予算に伴い、3月補正予算で追加した中部小トイレ改修工事は平成29年度に繰越した為。	平成29年度への繰越額(単位:千円)		147,070				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設用地整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度に購入した西部小学校用地は、車両通行用の進入路の拡幅及び駐車場の整備を行う。 五本松小学校用地の購入を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	なし(現段階での事業計画はなし)
②①に基づく取り組み結果	西部小学校用地について、電源設備の移設及びアスファルト舗装工事(進入路拡幅・駐車場整備)を行った。また、借用していた五本松小学校用地の購入を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校施設	意図(対象をどうするのか)	施設運営に必要な用地を確保する。
②事務事業の概要	小中学校の児童・生徒の活動環境向上のため、必要な用地を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	小中学校の借地部分は、事業の進捗に伴い残りわずかとなっているが、今後も必要に応じ、用地の取得・整備を行う。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	西部小学校用地の整備及び五本松小学校用地の購入を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	用地の購入状況	75	80	100	%	完了数/予定学校数(5校)
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算	
事業費(千円)	11,477	226,668	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			1,354	五小用地不動産鑑定委託			
県支出金(千円)			8,730	西部小進入路整備工事			
市債その他(千円)	10,200	190,400	215,400	五小用地購入費			
一般財源(千円)	1,277	36,268				0	

IV 評価・検討

①課題	予定していた用地購入及び整備が完了し、現段階では事業計画はなし。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	27年度に購入した西部小学校用地の整備を完了させるとともに、借地であった五本松小学校用地の購入を行った(残る借地の学校用地については、現段階では購入等の整備予定はないが、地権者からの打診等がなされた際には検討を行う)。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	西部小学校進入路整備工事 五本松小学校用地購入	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	229,260	229,260	当初	13,860	H27からの繰越	0	
				H27⇒28繰越				
③達成状況	完了			補正	215,400	226,668	現年分	226,668
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成29年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設校舎増設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度新規事業のため、前回評価なし。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	五本松小学校の児童数増加に対応した教室数を確保するため、新たな校舎(普通教室棟・特別教室棟)を整備するにあたり、併せて校庭等の外構整備工事を行う。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度新規事業のため、取り組み結果なし。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	五本松小学校の児童数増加に対応した教室数を確保するため、新たな校舎を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷周辺地区への人口流入が続いており、平成34年度においては4教室の不足が見込まれていることから、これに対応するための校舎の整備は急務である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	普通教室(4教室)及び特別教室(図書室・音楽室)の整備工事の設計を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	増設工事に関する生徒/全生徒			8%		実施校生徒数/全生徒数
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	0	9,127	金額(千円)		内容		307,685
国支出金(千円)			495		五小用地測量委託		62,239
県支出金(千円)			8,730		五小校舎整備工事設計委託		
市債その他(千円)		6,400					204,300
一般財源(千円)		2,727					41,146

IV 評価・検討

①課題	五本松小学校の児童数増加に対応した教室数を確保するため、速やかな対応が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	工事の進捗を適正に管理していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	五本松小学校校舎増設工事の設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	11,155	11,155	当初	11,155	9,127	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越			現年分	9,127
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成29年度への繰越額(単位:千円)				0		



平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	学校選択制は、市町村によって基準や手続きなどが異なるため、鎌ヶ谷市の制度についてよく理解していただくよう、引き続き周知方法などの検討を行う。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	学校用務員の退職者が出た学校について、新たな人員配置に代わり、民間委託により人件費の抑制を図る。
②①に基づく取組み結果	10/31までに住民となっている新小学1年生及び新中学1年生の保護者に対し、通知を送付した。また、就学時健康診断において、新小学1年生の保護者に説明を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の入学予定者	意図(対象をどうするのか)	学びたい、学ばせたい学校に入学できる。
②事務事業の概要	小中学校入学予定者が入学の前年に入学を希望する学校を選択できる学校選択制を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成28年度については中学校1校について受け入れ可能枠を超過する申出があったことから、抽選を実施し、不承認となった者があった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	81名(小学校38名、中学校43名)の児童生徒より学校選択制の申請があった。中学校1校については、5名の受け入れ可能枠に対し18名の申出があったことから、抽選会を実施した。結果、申請者数81名のうち、68名が承認、13名が不承認となった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	小中学校入学予定者数	1,964	1,908	1,832	人	業務取得
	ii	学校選択制申請者数	95	87	81	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	21,312	21,685	金額(千円)		内容		22,180
	国支出金(千円)		536		学校評議員報償		
	県支出金(千円)		17,839		学校施設環境整備員派遣委託		
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	21,312	21,685			22,180	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	該当保護者への通知の送付や、広報及びHPでのお知らせを通じて、制度に関し、周知できた。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	制度の周知をしたことで、申請期間内の運用を滞りなく行えた。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越	
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	少人数教育推進に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	1	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柳 昌孝			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	少人数指導の質の向上を図るため、きらり先生研修会のみならず各種研修会でも効果的な実施について指導支援していく。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	少人数指導の質の向上を図るため、市教育委員会指導訪問および要請訪問時に授業研究、協議会を実施し、きらり先生研修会を含め、効果的な実践について指導支援していく。
②①に基づく取り組み結果	研修会を2回実施し、少人数指導の効果的な学習形態の在り方の研修や情報交換を行った。指導計画、指導報告を精査し、授業改善に繋げる。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の児童生徒	意図(対象をどうするのか)	児童生徒にきめ細やかな学習を行うとともに、学校の活性化を図る。
②事務事業の概要	市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員(きらり先生)を配置し、きめ細かな学習指導を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	児童生徒、保護者、教職員は少人数指導教員の導入に好感を持っており、議会においても少人数指導教育の推進に好意的である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	少人数指導教員(きらり先生)の配置により、各校チーム・ティーチングや少人数指導が可能となり、児童生徒の学習意欲や基礎的な学力の向上を図る等、きめ細かな指導をすることが出来た。児童生徒、教職員、保護者からもよい評価を得ることができ、学校の活性化を図ることができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	きらり先生配置数	14	14	14	人	業務取得
	ii	きらり先生授業時間数	9,800	9,800	9,800	時間	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	23,405	23,729	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)			23,247		少人数指導教員賃金		
県支出金(千円)			479		校外学習引率旅費		
市債その他(千円)			3		校外学習引率入場料		
一般財源(千円)	23,405	23,729			27,173		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少人数指導の質の向上を図るため、きらり先生研修会のみならず各種研修会や担当教員との打ち合わせを行い効果的な実施について引き続き指導支援していく。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	学力向上のためにもきめ細やかな指導を行うことは重要であり、効果的な実施がなされているが、さらに指導方法等について向上を図っていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H27⇒28繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当			
	平成29年度への繰越額(単位:千円)			

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	特別支援教育推進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柳 昌孝			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)の研修と、心理発達相談員による迅速かつ専門的な指導を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)の研修を年3回から年4回に増やし情報交換を増やす。また、引き続き市内全14校で心理発達相談員による巡回相談を実施し、専門的な指導・助言を行う。
②①に基づく取り組み結果	年3回の特別支援教育推進指導教員の研修会にて事例報告やグループ協議、情報交換を積極的に取り入れた。心理発達相談員による巡回相談を市内全14校で複数回実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	特別支援教育が必要と思われる市内児童生徒	意図(対象をどうするのか)	特別支援教育が必要と思われる児童生徒個々のニーズに応じたきめ細かな指導を行う。
②事務事業の概要	市内小中学校に1名ずつ(大規模校2名)ずつ特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)を配置し、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対してきめ細かな学習指導・学校生活支援を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	特別な支援の必要な児童生徒は年々増加傾向にある。インクルーシブ教育システムの構築に向け、多様化する個々のニーズに応じた専門的な指導やきめ細やかな支援体制づくりがさらに求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	一人一人の児童生徒のニーズにあわせて、特別支援教育のねらいを明確にし、効果的な学習形態で、きめ細かな指導を行うことができた。このような中で児童生徒は落ち着いて学習に取り組むことができるようになり、学び方や友達との関わりも好転するなど、学習の成果も上がってきた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	該当児童生徒数	186	176	189	人	業務取得
	ii	特別支援を受けている児童生徒数の割合 該当児童生徒数/必要児童生徒数	32	34	31	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	28,857	30,821	金額(千円)	内容	35,507		
国支出金(千円)			30,398	特別指導教育推進指導教員			
県支出金(千円)			421	校外学習引率旅費			
市債その他(千円)			3	校外学習入場料			
一般財源(千円)	28,857	30,821			35,507		

IV 評価・検討

①課題	対象となる児童生徒一人一人の多様なニーズに応じたきめ細やかな支援・指導のための時間の確保が課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	特別な支援を要する児童生徒の増加と個々の特性に応じた教育的ニーズの高まりにより、保護者の期待と信頼が大きいため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	教育指導及び心理発達相談員の充実	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事例報告と情報交換会の実施	34,837	34,837	当初	34,837	30,821	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越			現年分	30,821
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						



平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	小中学校コンピュータ等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柳 昌孝			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	①小中学校14校のコンピュータシステムの一括管理 ②平成28年度コンピュータリニューアルに係る準備	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	コンピュータシステムのリニューアル後のソフト面・ハード面の指導・支援を行うとともに、次期学習指導要領のプログラミング教育に向けての準備を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	小中学校14校のコンピュータのシステムの指導・支援を行った。またリニューアルに伴う情報提供及び円滑な移行を指導・支援した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内教職員・児童・生徒	意図(対象をどうするのか)	教職員には、校務の情報化を進めるとともに、児童生徒にはICT技術の向上を推進する。
②事務事業の概要	市内小中学校の児童生徒のコンピュータやインターネットの基礎的な理解と活用を図るため、全校のパソコン教室をはじめとするコンピュータ等を整備し、情報教育環境を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成28年度リニューアルしたパソコンでの初期の不具合を解消し校務の効率化を推進する。平成32年度より始まる「プログラミング教育」に向けて指導助言する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	平成28年7月から8月にかけて、コンピュータのリニューアルを実施した。校務システム・学習システムの切り替えを導入して情報管理の整備を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i コンピュータ設置台数	1,351	1,351	1,155	台	業務取得
	ii タブレット設置台数	0	0	742	台	業務取得
iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	98,432	108,855	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			97,594	コンピュータ使用料		
県支出金(千円)			6,383	消耗品費修繕費		
市債その他(千円)			4,878	通信運搬費		
一般財源(千円)	98,432	108,855			0	

IV 評価・検討

①課題	コンピュータリニューアルに伴い、システムの変更と情報管理のセキュリティーレベルが高くなった。現場での使用方法の支援・指導の充実。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	全小中学校14校のパソコンのリニューアルを完了したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	リース契約終了に伴う小中学校コンピュータ等の整備。	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	全14校のリニューアルを実施した。	110,320	110,320	当初	110,320	H27からの繰越	0	
				H27⇒28繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0	108,855	現年分	108,855
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				